



# ちばの学童保育

2014年1月19日発行99号

本号の紙面  
千葉県学童保育指導員学校報告 1頁  
情勢／ほいく誌紹介 2頁  
学童保育紹介／学ほ誌活動 3頁  
県学童保育研究集会案内 他 4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内  
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

## 第33回 千葉県学童保育指導員学校

2013年12月1日(日)四街道市文化センター

午前講座 10:00~12:30 ・午後講座 13:30~16:00

今回も基礎講座「指導員の仕事と役割」や実技講座で遊びや手作り絵本、専門講座では「学童保育の過去・現在・未来」について、また「保護者との関係をどう作っていくか・お悩み相談」など、午前午後と合わせて10講座が開かれました。加盟地域から148名、未加盟地域から163名の合計311名の参加がありました。



「初めて講師をしていただいた講座に参加しとても参考になった。紹介してもらった絵本を早速買って子どもたちに読んであげたい。」「保護者との関わりの講座で、弁護士の経験から子ども時代の自己肯定の経験が大切との話も聞いて感動した。色々な悩みを話すことができ良かった。」などの感想がありました。





## 学童保育をめぐる最近の動き

2013年12月25日、2014年度政府予算案が発表されました。厚生労働省の学童保育関係予算は総額332億2300万円、前年比16億4700万円増となりました。また、子ども・子育て支援新制度の先行的な実施として、午後6時30分を越えて開設し、1日8時間、毎日勤務する指導員を配置する学童保育に対しては、これまでの厚生労働省の運営費補助金に、内閣府予算国費ベースで51億4800万円を追加する事となりました。

また放課後児童クラブの基準に関する専門委員会の報告書が2013年12月25日に発表されました。

### 1. 従事する者【従うべき基準】

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第38条第2項各号のいずれかに該当する者であって、研修を受講した者とするのが適当。

### 2. 員数【従うべき基準】

職員は2人以上配置することとし、うち1人以上は有資格者とするのが適当。

### 3. 児童の集団の規模【参酌すべき基準】

児童の情緒面への配慮や安全性の確保の観点から、児童の集団の規模はおおむね40人までとするのが適当。

### 4. 施設・設備【参酌すべき基準】

専用室・専用スペースは児童の生活の場としての機能が十分に確保される場所であって、専用で利用できる部屋又はスペースと捉え、面積は「児童1人当たりおおむね1.65㎡以上」とするのが適当。

### 5. 開所日数・開所時間【参酌すべき基準】

開所日数については、年間250日以上を原則とする。開所時間については、平日につき1日3時間以上、休日につき1日8時間以上を原則とし、地域の実情や保護者の就労状況等を考慮して事業を行う者が定めるものとするのが適当。

2014年は、新たな予算や制度が導入される重要な年になっていきます。今後の国や地方自治体の動きに大きな関心を持ちましょう。

## 日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



2月号表紙

2月号特集『第48回全国学童保育研究集会 in 岡山』です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「第48回全国学童保育研究集会 in 岡山-つながれ、あつ晴れ！学童保育！」です。いつもは表紙をめくると、子どもたちの沢山の笑顔から始まりますが、今回は大人たちの真剣な顔や笑顔から始まります。全国研に参加した人は、それぞれの感じた思いをもう一度確認し、地域で参加できなかった人に伝え合い、次回の全国研への参加につながるよう、地域で交流を深めましょう。全国研ってなんだろう？から保護者・指導員が共に語り合う意味をもう一度話し合ってみませんか。



# わたしたちの学童保育所

白井市学童保育連絡協議会

白井市は全学童が市の施設で父母会が運営する公設民営で、自由な保育や指導員と父母の厚い信頼関係などの良さがある一方、役員負担や不安定な運営などの課題もあります。市内11学童中4学童と指導員会が加盟している白井市連協では、これまでこうした課題に対する行政への要望や講演会などを行ってきました。

今年度は「条例制定に関与していく」「役員負担を増やさない」「有効な交流をする」ことを重視して活動しています。目玉は有志で行う勉強会です。この先状況はよくなるのか悪くなるのか全くわからない中、「今なら、行政や政治に働きかけることで良い方向にもっていくことができる。でも現状どころか国や市の動向もわからない。そもそも議論ができるのだろうか。」という思いがありました。

市の子ども子育て会議には連協からも指導員が委嘱されていますが、学童が存在感を示すためには、まず連協内での中身の濃い議論が必要です。そのため強制ではなく自由参加の勉強会を行うことにしました。これまで毎回2～6名程参加して月二回程度、計10回行われ、全国連や専門委員会の資料を読み、それぞれの立場、子どもの立場の意見を交わす一方、非加盟学童にも不利益がないように他学童の現状や動向などもできる限り把握に努めました。毎回、広い視野で責任感を持った活発な議論が行われています。

今後は勉強会での議論を踏まえて要望をまとめ、専門家や市議会議員の意見なども聞いて、これから学童に入る子ども・親、また指導員にとって良い学童となる条例づくりに関わっていく予定です。



# 第37回千葉県学童保育研究集会

日時：2014年2月16日(日) 受付9:30 全体会：10:00～12:00  
分科会：13:00～15:00

場所：船橋市中央公民館

学童保育の期待は大きくなる中、運営は県内すべての市町村でさまざまです。しかし、子どもたちが安心して過ごせる放課後の生活を願う気持ちは同じです。

学童保育を更に充実させるには、保護者・指導員など、学童保育に携わる人がつながり合うことが大切です。この集会では、「よりよい学童保育をつくろう」、「子どもの発達と学力」や、学童保育で大切な「おやつ役割とメニュー」「楽しい保護者会行事」について、また指導員の専門性について「研修と資格のあり方」などについて、指導員だけでなく保護者にも学習や交流ができるような内容で分科会を行います。

また、午前中は『現代の子どもたち～子どもたちの生活・作文から読み解く子どもたちの今。』を千葉大学教授 片岡洋子氏を講師に招いての全体会があります。

同じ学童保育所の仲間を誘い、いつもと違う仲間と子どものこと子育てのこと学童保育のことなど色々語り合いませんか。

詳しくはチラシをご覧ください。

## 第39回全国学童保育指導員学校 南関東会場

今年も全国指導員学校(南関東会場)が開催されます。千葉県・東京都・神奈川県のご指導員が中心に、みんなで作りみんなで参加できる研修です。現在、小運営委員会で具体的な講座内容などを話し合い決めています。

日時 2014年6月1日(日) 10:00～16:00(時間予定)

場所 神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町1-10-1)

京浜急行「横須賀中央駅」下車徒歩15分

全体会講師：渡辺恵津子氏

詳細は未定です。決まり次第、チラシでご案内します。お楽しみに！